

(様式6-1) 社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	御殿場 I C と J R 御殿場駅周辺へのアクセス向上と地域活性化を担う道路整備									
計画の期間	平成 28 年度 ～ 令和 2 年度		交付対象	御殿場市						
計画の目標	御殿場 I C と J R 御殿場駅周辺へのアクセス道路を強化することにより移動時間の短縮及び地域活性化を図る									
計画の成果目標 (定量的指標)										
① 観光拠点から御殿場 I C 並びに J R 御殿場駅周辺への移動時間短縮 ② あんしん歩行エリア (新橋地区) 内の交通事故件数の減少										
定量的指標の定義及び算定式			定量的指標の現況値及び目標値							
			当初現況値	中間目標値	最終目標値					
			(H28当初)	(H30末)	(R2末)					
① 道路整備に伴う観光拠点から御殿場 I C までの移行時間の短縮率			0%	0%	5%					
$(\text{移動時間短縮率}\%) = (\sum \text{観光拠点からの移動短縮時間} / \sum \text{現況移動時間 (分)}) \times 100$										
② H21 あんしん歩行エリア (新橋地区) 交通事故件数を基準に各年度の交通事故削減率を算出			31%	35%	40%					
$(\text{交通事故削減率}\%) = (1 - (\text{当該年度交通事故件数} / (\text{H21 交通事故件数}))) \times 100$										
③										
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,568 百万円	A	1,568 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0%

静岡県社会資本整備重点計画における位置づけ					
第 2 期 (H20~H24)			第 3 期 (H25~H29)		
分野名					分野名
目標名					目標名
指標名	指標値 (H24)				指標値 (H29)

事後評価

1. 交付対象事業の進捗状況 (○: 計画期間中に完成 △: 計画期間終了後に完成見込 (備考欄に完成予定時期を記入、未定は空欄) - : その他 (備考欄に具体的に記入 (中止、未実施等)) (計画期間中に他の整備計画に移行したもので、●: 本計画の期間中に完成 ▲: 本計画の期間終了後に完成見込 (備考欄に完成予定時期を記入、未定は空欄))

交付対象事業																		
A1 道路事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
											H28	H29	H30	R1	R2			
A01-001	道路	一般	御殿場市	直接	御殿場市	市町村道	改築	(1) 0114号線 東山	現道拡幅 0.44km	御殿場市	■	■	■	■	■	324	▲	R5完成予定
A01-002	道路	一般	御殿場市	直接	御殿場市	市町村道	改築	(1) 0115号線 (1工区) 鮎沢	バイパス 0.11km	御殿場市	■	■	■	■	■	223	○	
A01-003	道路	一般	御殿場市	直接	御殿場市	市町村道	改築	(1) 0115号線 (2工区) 鮎沢	バイパス 0.50km	御殿場市	■	■	■	■	■	665	○	
A01-004	道路	一般	御殿場市	直接	御殿場市	市町村道	改築	(1) 0115号線 (3工区) 新橋	自歩道整備 0.30km	御殿場市							-	未実施
A01-005	道路	一般	御殿場市	直接	御殿場市	市町村道	改築	(1) 0114号線 (2工区) 東山	現道拡幅 0.30km	御殿場市	■	■	■	■	■	356	▲	R5完成予定
A01-006	道路	一般	御殿場市	直接	御殿場市	市町村道	新築	(市) 0134号線 駒門	道路新設 0.50km	御殿場市							-	未実施
A01-007	道路	一般	御殿場市	直接	御殿場市	市町村道	改築	(市) 0109号線	バイパス 0.61km	御殿場市							-	未実施
											合計	1,568						

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。
(参考) 計画の成果目標を同一とする地域自主戦略交付金の交付対象事業

(別添「事業実施計画」参照)

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況	交通車両分散の役割を大きく果たし、御殿場 I C 周辺の交通渋滞緩和効果が見られた。また、歩車道の分離により、通行者の安全が確保されている。				
II 定量的指標の達成状況	指標① (道路整備に伴う観光拠点から御殿場 I C までの移行時間の短縮率)	最終目標値	5%	目標値と実績値に差が出た要因	渋滞回避の迂回路線としての効果が想定以上に発現し、交通の流動性が向上したためと考えられる。
		最終実績値	10%		
	指標② (H21 あんしん歩行エリア (新橋地区) 交通事故件数を基準に各年度の交通事故削減率を算出)	最終目標値	40%	目標値と実績値に差が出た要因	各路線の整備に伴う交通の分散や歩道整備による歩行者の安全性の向上により目標となる指標の達成に至った。
			最終実績値	40%	
指標③ ()	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因		
		最終実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況	有事の際の緊急避難路としての効果も期待され、防災の効果も向上が見込まれる。				

3. 特記事項 (今後の方針等)

今後も社会資本総合整備計画に基づき、限られた財源の中で最大限の事業効果を出せるよう努めながら、事業を円滑に推進していく。観光、産業、防災等多面的に効果のある各路線の早期開通を目指し、地域活性化を図っていきたい。

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
有識者等の第三者で構成される「御殿場市都市計画審議会」による評価	令和6年1月
	公表の方法
	御殿場市ホームページに掲載